

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
後援会が保護者の皆さまと作るページです。

※（ ）内はお子さまの名前/学部

高知県支部のキャンパス見学と駅伝予選会



高知県支部長
米田 佐知
（昌平/経済学部）

高知県支部では、例年10月に東京六大学野球観戦とキャンパス見学を行っていただきます。昨年、一昨年と明治大学戦が続いたこともあり、違う対戦や他のスポーツも観たい、駅伝予選会と組み合わせられないか等々早くから（一部で）盛り上がりつつありました。結局9月20日（土）市ヶ谷キャンパス見学、野球観戦、21日（日）秩父宮でラグビー観戦となりました。もちろん、夜の懇親会も行い、現地集合現地解散のお気軽なツアーで、好きなメニューに参加できます。

市ヶ谷のキャンパス見学は会員6人の参加でしたが、ご兄弟の参加があり、中学生、2才、5カ月の赤ちゃんととも賑やかな一行となりました。学生さんのご案内は初めての経験でしたが、大学生ならではの楽しいお話も聞くことができ、大変好感を持ちました。キャリアセンター

や図書館、情報センターなど学生を支援する仕組みが整っていて感心しました。

それから、今年8月の総会でお世話になった竹内淑恵経営学部部長室を訪問、広く整ったお部屋に感嘆、窓からの景色にうっとりしました。先生同様お部屋も知的かつ親しみやすく、大学と経営学部を身近に感じることができました。

その後の野球観戦と夜の懇親会も大いに盛り上がりつつあると言えまでもありません。

高知県は遠いので、毎年参加者は10人前後です。でも、こんなに楽しい特別活動、支部の皆さんに4年間うち一度はぜひ参加して欲しいと切に願っております。

さて、今年ももう一つ特別活動を行いました。箱根駅伝予選会です。元々、お正月は箱根駅伝というファンですが、特に応援チームはなく、ただただ熱く走る若者の美しさに清々しさを感じ、目頭を熱くするの恒例でした。ですから、このところ応援にも熱が入っており、一度



応援に行きたいと願っていました。場所がわかるだろうかという心配は立川駅に降り立った瞬間吹き飛びました。看板や多くの大学のノボリ旗がその熱気を伝えていきます。そして多くの人々が、まるで川の流れるように歩いて行きます。会場に着いても人の多さと熱気に驚くばかり。法政のノボリを目指して沿道に着いてみると既に3重4重の人垣が出来ており、完全に出遅れを実感。でも、

一生懸命応援しました。私たちは予選会を甘く見ていたね、と反省。でも、この予選会のスケールの大きさを肌で感じる事ができました。

結果は12位と本当に残念でした。固唾をのんだ結果発表、がつくりきた選外、選手を労いたい気持ち等強い連帯感を感じました。

すべての活動について後援会の方には終始お世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。

神宮応援と母校キャンパス見学



東海支部副支部長
近藤 悟
（弘基/経済学部）

東海支部は10月4日（土）に総勢44人で、神宮応援および市ヶ谷キャンパス見学を実施しました。

まずは神宮からです。一生懸命プレーする選手に、応援団リーダーの迫力ある演武、チアの可憐なる演技、そしてブラン吹奏楽の力強い演奏は、私が30年前の学生だった頃と何ら変わるものもなく、すばらしい一言でした。またエール交換時、神宮の柱に響き渡る太鼓と校歌は、忘れていた学生時代を思い出させ、思わず目頭が熱くなりました。この素晴らしい神宮応援を支部の皆さんへ

体験していただいたことに、一卒業生として母校への誇りを強く感じました。

次は市ヶ谷キャンパス見学です。ボアソナード・タワーの近代的な迫力と55・58年館の古き良き建築美には、圧倒的なコントラストがあり、参加者一同から思わず感嘆の声が洩れました。また、今回キャンパスを案内してくれた学生さんは、そろそろ疲れが出てきたであろう参加者を、ユーモラスに接するなどして癒してくれました。この配慮の気持ち、何だか先輩としてともうれしかったです。母校の学び舎はこの30年で大きく変わりましたが、このような心根の学生が今も変わらずいてくれることに、法政らしい伝統はいつまでも、と思う次第です。



「大勝利！」の2日間でした



広島県支部長
本名 正憲
（佑太/デザイン工学部）

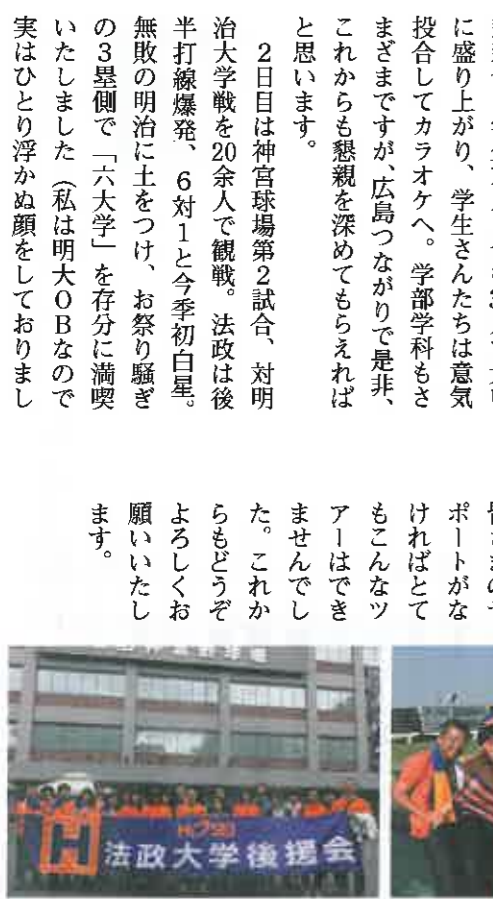
去る10月11日（土）と12日（日）、キャンパスツアーが行われました。迫りくる台風19号の進路とにらめつこの状況でしたが天気にも恵まれ、キャンパス見学ならびにスポーツ観戦を楽しむことができました。今回ラグビー部の吉村公太朗選手（3年・ロック）の両親が参加されるとのこととで初めて初日に有志でラグビー観戦を敢行いたしました。試合は強豪流通経済大学戦。吉村君のタックルも冴え、試合は52対17で快勝！都心から熊谷まで1時間以上電車で揺られて行った甲斐がありました。夜の懇親会も学生10人を含む30人で大いに盛り上がり、学生さんたちは意気投合してカラオケへ。学部学科もさまざまですが、広島つながりで是非、これからも懇親を深めてもらえればと思います。

2日目は神宮球場第2試合、対明治大学戦を20余人で観戦。法政は後半打線爆発、6対1と今季初白星。無敗の明治に土をつけ、お祭り騒ぎの3塁側で「六大学」を存分に満喫いたしました（私は明大OBなので実はひとり浮かぬ顔をしておりまし

たが、笑。

さて、短い間でしたが、「法政」の素晴らしさに触れることができ、改めて「通わせてよかった」と実感。そして会員の絆もより深まったと確信いたしました。「明るく楽しく元気よく」が取り柄の広島県支部、これからはしっかりと子どもたち、そして子どもの母校法政をバックアップしていく所存です。

最後になりましたが、ラグビーには池田会長、野球には秋山総務はじめ、ご多忙の中本部から駆けつけてくださった皆様、そしてサポートがなされた皆様、ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。





第91回箱根駅伝スタートラインに立つための予選会が、10月18日(土)に国営昭和記念公園で開催されました。法政大学は箱根駅伝本選で前回11位。10位でシード権を獲得した大東文化大学との差は僅か50秒の差でシード権を逃し、この予選会に参加しています。



6月に行われた支部長会議の際に、合宿の開催地の紹介があり、更に偶然にも大学内で、チャアリーディング部総務責任者にお会いすることができ過去の合宿内容などの話を聞き、我々法政大学後援会郡山支部として少しでも何か役に立つことはないかと考え、合宿の始めに飲み物の差し入れをすることにしました。

2014年 法政大学応援団イベント日程

日時	会場	イベント名
11月29日(土) 時間未定	メルパルクホール (東京郵便貯金ホール)	第50回定期演奏会
12月7日(日) 時間未定	新宿文化センター	第58回オレンジの集い

※時間は主催者等の情報を確認の上、応援・ご参加をお願いします。

後援会ウェブサイトのご案内

URL:<http://www.hosei-koenkai.org/>

法政大学のウェブサイトを開いていただき、オレンジのインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。是非一度ご覧になってみてください。



「携帯メール情報」の配信案内

法政大学後援会は、メールマガジンを発行しています。六大学野球、ラグビーや箱根駅伝などのスポーツ情報、講演会などイベント情報を提供しています。一人ひとりの力は小さくても、一致団結して盛り上げて行きましょう。配信ご希望の方は、下記アドレスへ「メールマガジン配信希望」とお書きになり、登録されるメールアドレスをお送りください。



koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp

「箱根駅伝予選会」観戦記



幹事 宮崎伸一

(美濃/文学部)

政大は惜しくも12位で本大会への出場を逃し、残念ながら伝統の襷をつなぐことは叶いませんでした。肩を落とす選手たち。大健闘だったと思います。再来年の箱根駅伝を目指して頑張ってください。遠方から駆け付けた後援会支部の方々をはじめとするオレンジのパワーには、選手たちはきつと勇気づけられたと思います。同時に、卒業生の私も母校の誇りを胸に刻むことができました。是非、来年の予選会に集い、オール法政で陸上競技部へ熱い声援を送りましょう。



スタート地点の陸上自衛隊立川駐屯地では各大学の応援団の応援合戦が繰り広げられ、トラックの周囲には各校色とりどりののぼり旗が立ち並び、熱気に溢れていました。スタート直前、一転して静寂になり緊張感に包まれました。9時35分。48大生561人の選手が一斉にスタート。夢の扉を開くための20キロメートルの戦いが始まり、疾風のように駆け抜ける選手達を見送りました。ゴール地点の「みんなの原っぱ」で法政大学後援会のメンバーと法政大学職員、学生、卒業生、法政大学駅伝友の会の皆さまと結果を待ちました。各大学が待ち続けた運命の瞬間。出場校の発表です。1位から発表。10位創価大学。この瞬間、法政大学の出場はなりませんでした。法

伝統の重みを受け継ぐ者たちへ



郡山支部長 武藤和也

(美濃/文学部)

は、自分が想像していた合宿とはほど遠くとも厳しい内容でした。リーダー部、吹奏楽部、チャアリーディング部、それぞれに早朝から練習をし、朝食後にまた練習、その後昼食後から夕方まで練習をして、更に夕食後、夜の10時近くまで練習をする内容でした。

10月2日(木)、後援会11人の運営委員と大学側より小川浩幸法人代表本部長をはじめ10人の常任参与、1人の参与に出席をいただき、ポリアソナード・タワー25階「B会議室」において「常任参与・参与との懇談会」を開催しました。

この懇談会の中で後援会からは主に「東日本大震災及び災害被災関連」、「学生支援費」、「体育会強化」、「市ヶ谷キャンパス校舎建替え工事」、「就職活動支援」等の現在の取り組み状況を確認しました。具体的に、震災関連では2014年度において東日本大震災被災者への支援措置審査が終了し、給付報告がありました。2015年度入学者、在学生を対象に奨学金支援実施や自然災害により被災された皆さまへも大学のウェブサイトに奨学金掲示板にて問い合わせ先の告知を実施しているとのことでした。

卒業生役員合わせて17人と、福島支部からは支部長ご夫妻と役員の方も参加され、我々郡山支部はオレンジのジャンパーを着て会場とステージを盛り上げました。三部それぞれの成果発表は当然のごとく素晴らしい内容で、なかでも福島県を思いやる応援や、会場全員で歌(花は咲く)を合唱した時はとても感動しました。今回の成果発表会も昨年に引き続き大盛況で、招待された地元の方々の笑顔が多く見られました。

今後も、私たち後援会は、応援に全力を注ぐ応援団に、微力ながらも後押しをしていきたいと考えております。

常任参与・参与との懇談会報告



総務 鈴木聖子

(美濃/キャリアデザイン学部)

長期化と8月以降の選考期間の短期化スケジュールに配慮して、就職ガイダンスを複数回予定し、学内企業説明会を採用広報活動解禁の3月に集中的に実施していく等の方式を見直していくという事です。引き続きSPI、WEB試験を無料とし、受講者登録者にテキストを用いて学習の機会をより一層充実させていくとのことでした。

今回の懇談会を通じて、大学の学生への取り組みについて後援会でも相互理解のもと一致協力し、更なる学生への支援を行う役割の重要性を再認識し貴重な有意義な懇談となりました。

